



山形大学の学生を対象にしたスタディツアーの様子 (1月18日)

これからも『START』です

START との 縁

～ことぶき町商店街 近藤三雄さん篇～



近藤さんはSTARTの一員として、語り部をして頂いています。

震災から2年目を迎えて近藤さんは「色々な事があり、まだ2年？とも思えますし、もう2年！と気持ちが錯綜している」と言います。

震災で大切なものを奪われた石巻では、市街地の建物等の解体が進み、空地が広がっていく中で「石巻は震災直後より寒々しい風景になるかもしれない」と危惧していました。

一方で、犠牲者の鎮魂と残された方の生活や思いは「筆舌に尽くせない」とし、そこで「生かされた命」の意味は、「街を復興することであり、それは全国から頂いた心温まる思いと支援に対する「感謝」の為でもある」としました。

そして最後にこんなメッセージを残しました「多くの皆様とお会いできたことが私達の喜び。STARTを初め、多くの方に勇気と元気を頂きました。ありがとうございます。これからもよろしく願います。」

私達はこの思いを励みに、また応えられるよう頑張っていきます。

山形大学と東北芸術工科大学、青山学院大学の学生が中心となって活動している団体です。復興の状況や防災を学ぶ【石巻スタディツアー】、津波で被災した反物をリメイクする【saki-ponプロジェクト】を主な活動としています。

石巻がまた、花咲きますように

Saki-pon

2/11(月)に開催されたNHK主催の『公開復興サポート 明日へ in 東北大学』の会場でsaki-ponを販売してきました。当日は雪が舞う中「石巻のために」と多くの方にsaki-ponをお買い求めいただきました。



オンラインでも販売しています

saki-pon

検索



スタディツアーレポート



『石巻スタディツアー～防災を学び、未来に備えるためのツアー～』

- 日時：1月18日（金）
- 対象：山形大学の学生
- 参加人数：山形大学生（14名）山形大学教員（1名）広島大学生（2名）社会人（1名）
- 主な訪問先：門脇町・南浜町、「がんばろう！石巻」、門脇小学校、日和山、木の屋石巻水産、いしのま☆キッチン、石巻まちなか復興マルシェ、プロショップまるか、相澤商店、コミュニティカフェかめ七、石巻立町ふれあい商店街、ピースポートセンターいしのまき

はじめまして、START スタッフの工藤です。今回のスタディツアーは、山形大学生を対象に行いました。これまで計9回のツアーを行ってきましたが、実は山形大学生を対象としたツアーはこれが初めてでした。「感じる・知る・考える」をツアーのテーマとして掲げ、石巻を訪れました。

初めに門脇町を訪れ、「がんばろう！石巻」のメモリアルをスタートに、門脇小学校へ行き、日和山を登りました。雪が積もり、気温が低く、震災当時こんなに寒い中一夜を過ごしたのだろうかと思いをめぐらせました。その後漁港で木の屋石巻水産の社員の方からお話を聞きました。お昼は3班に分かれ、いしのま☆キッチン、プロショップまるか、マルシェでいただきました。昼食後、班ごとに商店街でまち歩きをし、お店の店主さんからお話を伺ったり、おみやげを買ったり、おやつを買って食べたりと楽しみました。

参加者は「百聞は一見にしかず」と、実際に自分の目で見て、体で感じてみることの重要性を感じたようでした。そして、現状を知ることから自分にできることはなんなのか？自分たちはどう震災に向き合っていけばよいのか？を考え、語り合う様子は印象的でした。

石巻の復興はまだまだこれからです。少しずつ変わるまちや自然の風景を見落とさないように、これからもツアーを続けていきたいです。



■今後の予定■

3月16日（土）に社会人対象石巻スタディツアーを開催する予定です。

■コンタクト■

公式HP：<http://www.start-touhoku.jp>

E-mail：thinknewtohoku@gmail.com



『START 通信』は私たちの活動や石巻の様々な情報をお伝えするものです。



START メンバー紹介
山形大学 人文学部 1年
石井 孝志

こんにちは石井です。私は今回の石巻スタディツアーに参加し、石巻の方の穏やかな人柄と食べ物に惹きつけられたと共に、自分でも石巻に出来る事があるのでは？と感じたのを契機にSTARTに加入しました。これから石巻の素敵な所を沢山見つけ、多くの人に発信したいと思いますので、会った時には是非教えてください！